

記載例

特定施設の種類	ばい煙、粉じん、汚水 騒音、振動、悪臭
---------	------------------------

特定施設 設置 届出書

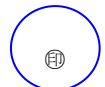
平成〇〇年〇〇月〇〇日

（あて先）宇都宮市長

（設置届）工事の開始の日の30日前までに、
（使用届）特定施設となった日から30日以内に、
届け出てください。

届出者 住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）
宇都宮市〇〇町〇丁目〇-〇

氏名 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
株式会社 〇 〇 〇 〇
代表取締役 〇 〇 〇 〇



社長及び代表者印

特定施設の 設置 について、栃木県生活環境の保全等に関する条例 第7条
第8条
第25条第1項
第26条第1項 の規定 使用

により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社 〇〇〇〇 宇都宮工場 (TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇)		
工場又は事業場の所在地	宇都宮市〇〇町〇丁目〇-〇 (〒 〇〇〇-〇〇〇〇)		
業種及び主要製品	〇〇〇〇製造業 〇〇〇〇	従業員数及び工場又は 事業場の敷地面積	〇〇 人 〇〇〇〇 m ²
特定施設の種類	機械プレス		
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	△ 特定施設の使用 及び管理の方法	別紙のとおり
△ 公害の防止の方法	別紙のとおり	△ 特定施設の 種類ごとの数	別紙のとおり
※ 受理年月日	年 月 日	※ 整理番号	※ 備考

- 備考
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【提出先：環境保全課 TEL632-2420】

(別表)

法令該当区分		騒法, 振法, 条/騒, 振	騒法, 振法, 条/騒, 振	騒法, 振法, 条/騒, 振
種類ごとの数・構造	法の別表第1, もしくは, 条例の別表第2の第1欄及び第2欄の番号	1-2	1-2	1-2
	特定施設の名称	液圧プレス	液圧プレス	液圧プレス
	特定施設の型式	アマダSP30	アマダ8025	クボタKK-1
	特定施設の数	1	1	1
	特定施設の規模 (KW・重量 t・m ³ ・kg)	30 t	80 t	50 t
使用方法	工事着工予定年月日	既設 (届出済)	既設 (届出済)	平成17年 9月30日
	工事完了予定年月日			平成17年 9月30日
	使用開始予定年月日			平成17年10月 2日
	事業場 (工場) の操業時間	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30
	1日の使用時間 (時間)	8時間	8時間	8時間
	1回の使用時間 (時間)	0	0	0
	1日の使用回数 (回)	0~1, 200回	0~1, 200回	0~1, 200回
	季節変動	なし	なし	なし
防止の方法	騒音・振動の防止の方法の概要	防振ゴム使用	基礎を防音, 防振構造とした	防振ゴム
参考事項	騒音防止施設	設計施工者	工場全体の敷地面積	
	工事予定費用	〇〇万円	1,000	
	資金内訳	自己資金 〇〇万円	銀行借入 〇〇万円	m ²
	工事着手予定年月日	工事完了予定年月日	使用開始予定年月日	
添付書類	1. 特定施設の配置図 工場事業場の建物の配置を明示するとともに, 特定施設の位置を朱書きすること。(縮尺又は距離を記載したもの) 2. 工場, 事業場の付近見取図 周辺200メートルの付近図とし, 付近の状況を明示するもの(縮尺又は距離を記載したもの) 3. 騒音の発生及び騒音の防止に係る操業の系統を説明する書類 4. 騒音の大きさ (デシベル) に関する説明書及び特定施設の騒音値が, 明記されているカタログ			

(別表)

法令該当区分		騒法, 振法 , 条/騒, 振	騒法, 振法 , 条/騒, 振	騒法, 振法 , 条/騒, 振
種類(との数・構造)	法の別表第1, もしくは, 条例の別表第2の第1欄及び第2欄の番号	1-2	1-2	1-2
	特定施設の名称	液圧プレス	液圧プレス	液圧プレス
	特定施設の型式	アマダSP30	アマダ8025	クボタKK-1
	特定施設の数	1	1	1
	特定施設の規模 (KW・重量 t・m ³ ・kg)	30 t	80 t	50 t
使用方法	工事着工予定年月日	既設 (届出済)	既設 (届出済)	平成17年 9月30日
	工事完了予定年月日			平成17年 9月30日
	使用開始予定年月日			平成17年10月 2日
	事業場 (工場) の操業時間	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30
	1日の使用時間 (時間)	8時間	8時間	8時間
	1回の使用時間 (時間)	0	0	0
	1日の使用回数 (回)	0~1, 200回	0~1, 200回	0~1, 200回
	季節変動	なし	なし	なし
防止の方法	騒音・振動の防止の方法の概要	防振ゴム使用	基礎を防音, 防振構造とした	防振ゴム
参考事項	騒音防止施設	設計施工者	工場全体の敷地面積	
	工事予定費用	〇〇万円	1,000	
	資金内訳	自己資金 〇〇万円	銀行借入 〇〇万円	m ²
	工事着手予定年月日	工事完了予定年月日	使用開始予定年月日	
添付書類	1. 特定施設の配置図 工場事業場の建物の配置を明示するとともに, 特定施設の位置を朱書きすること。(縮尺又は距離を記載したもの) 2. 工場, 事業場の付近見取図 周辺200メートルの付近図とし, 付近の状況を明示するもの(縮尺又は距離を記載したもの) 3. 騒音の発生及び騒音の防止に係る操業の系統を説明する書類 4. 騒音の大きさ (デシベル) に関する説明書及び特定施設の騒音値が, 明記されているカタログ			

別添様式1
(6-(3)定形的添付書類)

記載例

参考事項

記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○○○○	所属 部課名 ○○○課	電話 ○○○-○○○ FAX ○○○-○○○
公害防止管理者	選任 1 要 2 不要	選任要 のとき	職・氏名 試験又は 資格の区分
公害防止責任者	職・氏名		
従業員数	○○○人	主製品名	○○○○ 日本標準産業分類の 小分類番号・項目 ○○○○
特定施設メーカー名	○○○○会社		処理施設メーカー名 ○○○○会社
特定施設が関係する製造工程の概要 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A[材料] --> B[プレス] B --> C[表面処理] C --> D[検査] D --> E[出荷] </pre> </div>			
新規立地工場・事業 場事前協議	1 要 2 不要	事前協議 のとき	協議終了年月日
特定施設等を 設置する土地	用途	敷地 (既存面積 m ²)	地域 面積等 (新規・増加面積 m ² 登記地目)
特定施設等を 設置する建物	新築 (床面積 m ²)	増改築 (床面積 m ²)	
工場・事業場 当初設置年月日	日 年 月	設 水質関係特定施 当初設置年月日	日 年 月
めっき施設の設置等 に係る事前協議	1 要 2 不要	事前協議 のとき	対象物質 協議終了年月日
排水先 (水質関係に係る届出書に添付のときのみ記載)	複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排水の排出先の用水路名 () ↓ 排水の排出先の河川名 ()		
公害防止協定	締結 1 有 2 無	締結有 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議 1 要 2 不要 事前協議 1 協議済 2 協議予定
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決していない苦情 1 有 2 無	有のときは その区分	1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 その他 2 粉じん 4 悪臭 6 振動 ()

その他、別紙として次の書類を添付する。
 1 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、污水に関する届出等については、排水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
 2 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)
 3 ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。) 及び使用燃料の分析表
 4 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した図面等